

2021年度よこはま森の楽校～家の中に小さな森を作ろう～



東京都市大学 田中章(ランドスケープ・エコシステムズ)研究室 学部4年 齋藤真大

よこはま森の楽校とは？

みどりアップ計画における「市民が森に関わるきっかけづくり事業」の一環として行われる事業の1つで横浜市と大学生が協力して行っています。大学生と一緒に親子や小中高の学生などの参加者が、緑や自然について学ぶ環境教育を通して、市民が森や自然に関わるきっかけをつくることを目的としています。

2021年度よこはま森の楽校～家の中に小さな森を作ろう～のプログラム内容の紹介

2017年より田中章研究室は横浜市と協働で森の楽校を行っています。今年行われた森の楽校のプログラム内容を紹介します！昨年引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からZOOMでのオンライン開催になりました。

開催日時：2021年9月26日（日）13：00～14：00

開催方法：ZOOM 開催

参加対象者：小学生のお子様とその保護者様

当日の参加者：21家族（大人22名、子供30名）

対面で実施した時の様子



対面時のフィールドツアーとグループワークの様子

主なプログラム内容

【生物多様性についての解説】

生物多様性とは何か、そして開発などによって減少していく生物多様性の現状を横浜市の緑地なども例にとりながら解説。さらに自然の恵み（生態系サービス）によって私たちの生活が成り立っていることの解説を通して生物多様性や自然の大切さを実感して頂きました。

【研究室・生物多様性配慮型特殊緑化の紹介】

失われていく生物多様性や自然環境を取り戻す方法として当研究室が行う生物多様性配慮型特殊緑化を解説。当研究室が管理するビオトープや保全林、壁面緑化などの5つの自然復元手法を紹介しました。

【伊豆大島産火山礫を使用した苔テラリウム作成】

自然復元手法をプログラム中で学んだ参加者自らが、最後に小さな自然復元として伊豆大島産火山礫を用いて森を模した苔テラリウムを作成する機会を設けました。これらを通して、自然を身近に感じてもらい、これまで以上に生物多様性や自然環境に対して考えたり、関わったりするきっかけを提供しました。



今回作成した苔テラリウムの例

過去の学内イベントの紹介

開催年	テーマ	内容
2017	まちや部屋に森を呼び込もう ～テラリウム作りから生物多様性を考える～	小学生を対象に五感でみどりや生物多様性を感じていただくために、当研究室で管理している都市緑化フィールドでフィールドツアーを行った。実際に植物に触れて頂いたり、耳をすまして自然の音を聞いて頂いたりして自然に触れるきっかけを作り、生物多様性や在来種について解説した。テラリウム作りでは、在来種のシダ植物を使用したテラリウムを作成し、室内という身近な環境でもみどりを取り込み生物多様性を学べる良さを学ぶきっかけを提供した。
2018	都市緑地の役割や都市緑化に利用される植物を知ろう	高校生を対象に都市緑化の役割や都市緑化に使用されている植物について実際に理解してもらうため、当研究室が管理している生物多様性配慮型特殊緑化を学ぶツアーを行った。ツアーの後は都市緑化に因んでアロマスケープの観点からハーブを利用した香りのするテラリウムの作成や、香り袋の配布を行って自然をより身近に感じていただくきっかけを提供した。
2019	キャンパス内の自然とふれあえる植物観察ツアー！ ～都市緑化と自然について学ぼう～	小学生を対象に東京都市大学田中章研究室の研究における背景や日常の活動を、当研究室のフィールドツアーを通して紹介した。特に、植物の剪定や、ビオトープ・パッケージに生息しているミナミメダカを捕獲するなど自然に実際に体験する内容を多く組み込むことで参加者がより身近に自然に関わるきっかけを提供した。最後に、屋内でも自然を身近に感じて頂くため、インテリアとしての在来種を用いたテラリウム作成を行った。
2020	環境学と都市の自然（ZOOMのオンライン開催）	高校生を対象に近年できたばかりの「環境学」という学問領域について紹介した後、環境学の中でも特に重要度の高い課題である「生物多様性」について解説した。開発に伴い減少していく都市の自然を生物の生息空間の視点から捉え、これらの現状を説明した後に、自然環境に配慮した開発として、実際に横浜市にある自然環境や当研究室が管理するフィールドを紹介。都市にある少ない緑にも沢山の生物が生息していることを理解して頂いた。

学外イベント紹介

毎年11月ごろに桜木町にあるクイーンズスクエアでよこはま森の楽校学外イベントを行っております（2020、2021年度中止）。当研究室は在来種のハウライシダを使用したテラリウム作成を行うワークショップを開いています。毎年長い行列ができるほど人気がありますので見かけたらぜひご参加ください！



学外イベントの様子

研究室紹介

東京都市大学田中章研究室は、開発によって消失し続ける自然環境の復元・創造をテーマに、フィールドから政策までの多岐にわたる研究を行っております。具体的には環境アセスメントなどについて学ぶ「政策」、生態系を定量的に評価する手法のHEP（生息地評価手続き）を学ぶ「評価手法」都市緑化やランドスケープデザインなどを学ぶ「都市緑化」という3つの分野から持続可能な開発に向けた生物多様性保全と経済活動の両立を図るための研究を行っております。



当研究室が復元した湿地型のビオトープ



田中章研究室HPのURL